

## 第22回 卒業証書授与式 在校生代表送辞

厳しい冬の寒さも次第に和らぎ、暖かな春の訪れを感じるこの出来る季節となりました。

本日、晴れてこの木更津総合高等学校の卒業式を迎えられた第二十期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

卒業式を迎えられた今日、先輩方の脳裏には最高の仲間や先生方と過ごした日々、かけがえのない様々な思い出が走馬灯のように蘇っていることと思います。

私たち在校生はいついかなる時も先輩方の背中を追いかけていました。

先輩方と過ごした中での一番の思い出は本校最大行事である真心祭です。

体育の部においては、各色が勝利を目指し一致団結し合う中、その中心にいたのが先輩方でした。各競技での力強いご活躍、仲間のために全力で応援し一生懸命取り組む姿に心打たれたことを今でも覚えています。

文化の部においては、新型コロナウイルスへの対策が緩和されていき、学校全体がとても活気溢れるものとなっていました。先輩方の模擬店は一際賑わっており、私たちを楽しませてくれました。そして、先輩方と多くの時を過ごした部活動の中にも学ぶことができました。どんなに厳しい状況であっても目標に向かい諦めることなく挑み続ける力を持ち、仲間と切磋琢磨し合い自分を高め続けることで、達成の喜びを得ることが出来るのだと学びました。

振り返ってみると、在校生にとって三年生の皆さんは心から尊敬できる存在であり、この学校にとっても大きな存在でした。先輩方が旅立つ今、私たちには不安もあります。しかし、先輩方が築き上げてこられたこの木更津総合高等学校の伝統を引き継ぎ、更に発展させていきます。私たちを信じて見守ってください。

これから皆さんはそれぞれ違う道へと進み、様々な経験をするでしょう。新たな仲間との出会い、別れ、楽しい経験や辛い経験があると思います。大きな壁にぶつかる事もあると思いますが、この木更津総合高等学校での出会い、経験を生かしどんな壁でも乗り越えていけることを信じております。

人生という物語の主人公は皆さん自身です。是非最高の人生を送ってください。

最後に、卒業生の皆様のご健康と、更なるご発展を心よりお祈り申し上げ、在校生代表の送辞とさせていただきます。

令和7年3月1日

在校生代表 沖琉雅